

## 農村振興局長賞（捕獲鳥獣利活用部門（団体））

24時間受入体制の構築により町内の有害捕獲個体の8割以上を受入。「無添加シカ肉ドッグフード」を製造し、障害者の雇用機会創出に取り組む。

### 特定非営利活動法人 cambio（カンビオ）

（理事長：後藤 <sup>ごとう</sup> 高広 <sup>たかひろ</sup>）

主な取組

兵庫県多可町 <sup>たかちょう</sup>

- 町ではシカの有害捕獲が進んでいたが、埋設場所の選定や埋設のための労力が捕獲従事者の大きな負担となっていた。そこで、平成26年度に遊休施設となっていた給食センターを活用して、無添加シカ肉ドッグフードの製造を開始。
- 独自の搬入伝票と監視カメラで確認を行うシステムを導入することで、24時間搬入を可能とし狩猟者の利便性向上により搬入頭数を拡大し、町内の有害捕獲頭数の8割以上を受入。
- 遊休施設の旧給食センターを活用することにより、食肉処理加工施設並みの衛生環境の下で耕作放棄地を再生して生産した野菜や規格外野菜も原材料とした「無添加シカ肉ドッグフード」を製品化し、解体から加工まで一貫生産。
- 障害者の雇用機会創出に取り組み、就労継続支援B型事業所として、施設利用者7名がペットフード製造に携わっており、町内の貴重な就労の場となっている。

【施設への搬入頭数（シカ）】

平成27年度：278頭 → 平成30年度：513頭